

[卷頭のことば]

小 記

藤原与一

このたび、方言資料叢刊が発行される。近ごろ、これほどうれしいことはない。

私も、さきに方言学叢刊を計画したことがある。すでに多くのかたがたのご執筆ご許諾を頂いたのであったが、不敏にして私は志を遂げ得ず、諸彦にお申しわけない結末となった。今ここに、その名に類する他の叢刊の出るのを、私は、はばかりながら、ありがたく思う。

この第一巻は、「祝言のあいさつことば」の特集である。主題は、本叢刊の出発に、まことにふさわしい。さいさきがよい。どうか、この叢刊が長くつづきますようにと、私は心底より祈る。

創刊のおよろこびを、私も、自己の郷土弁（瀬戸内海大三島北端集落のことば）で申し述べてみよう。おゆるしを乞いつつ。

コアタビャー（この度は） イェー（よい） ホンオ（本を） ダシチサルンジャソーナ（お出しになるんだそうな）。オヌデトー（おめでとう）ゴザイマス（ございます）。

ナンヤカンヤ（なにやかや） イタシー（むずかしい） コトモ（ことも） アローケンド（あろうけれど）、ミンチデ（みんなで） チワラー（力を） ダシヨーデ（出しあって）、イェー（よい） アンバイニ（あんばいに） ヤッテ（やって） ツカーサイ（ください） プー（ねえ）。

マーマー（まあまあ）、ホントニ（ほんとに）、オヌデトー（おめでとう）ゴザイマス（ございます）。

ワジニモ（わたしにも） モア（ものを） イワヒデ（言わせて）ツカーサッテ（くださって）、アリガトー（ありがとう）ゴザイマス（ございます）。 ダンダン。（おおきに）。